

2010年、東京・お台場に450万人を集めたガンダム立像プロジェクトから1年。あの熱狂を九州・佐賀へ。「連邦の白いやつ」を呼ぶべく、モテモテさがは動き出します。

創刊号特集 ガンダム佐賀に立つ？



資料① 静岡への予想図



RG1/1ガンダム立像 ついに登場!!

新幹線こだまを静岡駅で降り、東海道線に乗り換えて1駅。JR東静岡駅で下車する。ホームから改札口へ上り、未来的な大空間の渡り廊下を歩くと、大きなガラス窓越しに「連邦の白いやつ」が見えた。思わず駆け寄る。本格的なカメラを抱えた人たちがすでに撮影を始めていた。東静岡広場に立つガンダム立像。周りには人の波が押し寄せている。「動く歩道」を急ぎ足で進む。

今回の展示はガンダムのプラモデル「ガンブラ」生誕30周年を記念したもの。近くには生産拠点の「パインダイホビーセンター」がある。同工場を始め、静岡市は全国一の模型生産を誇る。「模型の世界首都」と銘打ち、静岡ホビーフェアが開催されている。ガンダム立像はこのイベントに出展されている。

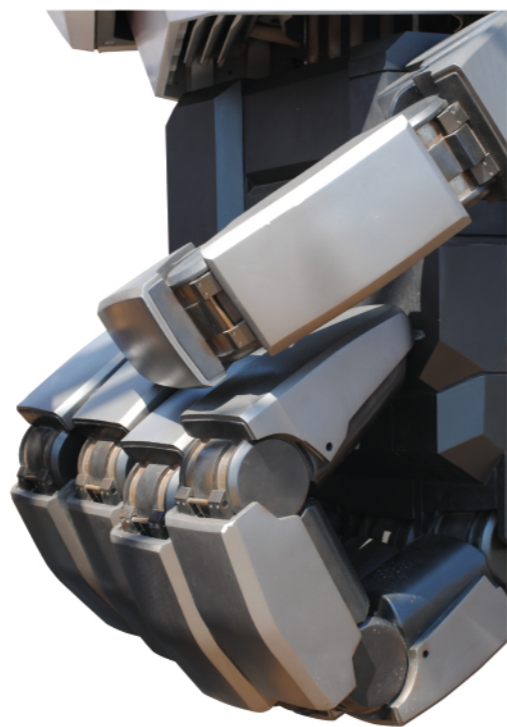
立像の正式名称は「ガンブラ REAL GRADE I / 1RX-178-1 2ガンダム」。全高約18メートルで、鉄筋骨格にFRP（繊維強化プラスチック）製の外装が取り付けられている。

会場はすでに長蛇の列。天気は

去年話題となったガンダム立像は静岡にいらる！情報をキャッチしたモテモテさが編集部は早速、当地へ潜入。取材班が目にしたのは、お台場よりもさらにパワーアップした白い機体の姿だった。

緊急レポート ガンダムは今！ 静岡取材





© 創通・サンライズ



© 創通・サンライズ

物だ。曲線の壁面には太陽光パネルが設置されていて、年間5万6千キロワットを発電する。まさに「ソーラーシステム」の平和利用だ。そのほか、水リサイクルや二酸化炭素、廃棄物の削減に先進的な取り組みをしており、未来の工場といったおもむきだ。

良ければ、背景に富士山が見えるはずなのだが。あいにくの曇り空が残念だ。今回のガンダム立像と「お台場」の最も大きな違いは、ビームサーベルを持っていること。刀身には特殊な塗装が施されており、太陽光を浴びて光がゆらめく。ちなみに夜間は映像を投影することによって、ビームサーベルに演出が施されるという。ビームサーベルを握らせるために、右手首の部分は新たに作り直したとのこと。

いよいよ、ガンダム立像の台座に上がる。ガンダムに触れる「タッチ&ウォーク」。見上げると今にも動き出しそうな迫力だ。細部の表現の「濃さ」にも驚く。本物のように、注意事項などが書かれたデカール(転写シート)が貼られていて、部材の質感も本格的だ。ノズルや胸のダクトなどからミストを噴出した。目や光り頭部が動くというギミックも。会場では、今回の立像を「再現」したプラモデルをはじめ、たくさんのおもちゃ商品が販売されていて、そちらの方も大注目だ。今回、特別に「バンダイホビーセンター」を見学することができた。まるでSFアニメに出てくるような建

遊び心 “ガンダム仕様” の工場

いる。設計セクションから案内してもらう。広いフロアには、連邦軍風の制服を着用したスタッフがパソコン画面とにらめっこ。この制服は夏用・冬用・作業用つなぎがあり、袖には階級章も。工場長など上位役職者は赤い制服があるという。ドアもトイレもガンダムの世界観を生かした仕様とカラーリング。大人もはまるガンプラの背景には、ものづくりに子ども心を忘れないバンダイの杜風があるのだろうか。

いよいよ成形セクションへ。最新のガンプラを紹介してもらおう。誕生から30年、驚くべき進化をとげていた。80年当時には単色でしかできなかったプラスチック成形が、今ではなんと4色できるといふ。塗装しなくても、まるで完成品のようになるのだ。プラカラーを混ぜたり、お小遣いが足りずにマジックペンで塗って貧乏くさい仕上がりになったり。そんな甘酸っぱい少年時代を思い出す。複雑である。

大興奮の「バンダイホビーセンター」見学を終え、歩いて東静岡駅へ向かう。地元鉄道の踏切を渡り、狭い路地を進むと、立像が見えた。市街地にそびえ立つ巨大なガンダム



© 創通・サンライズ



立像。日常の中に違和感なく溶け込んでいる。「白い巨人」をバックに、大きなヘッドフォンをつけた高校生が自転車で通りすぎていた瞬間、ガンダム世界の日常を見た気がした。

ガンプラ 30周年記念 RG シリーズ誕生!!

ガンプラ生誕30周年を記念して、バンダイは新ブランド「RG」シリーズを発売する。1/144スケールながら、豊富なカラーパーツ、魅せる動き、質感表現、組み立て済みインナーフレームを搭載し、「本物」であることを追求したブランドだ。

目玉である「1/144 RG RX-78-2 ガンダム」には30年の進化を感じさせるポイントが満載。関節部など可動ギミックが組み立て済みとなり、パーツ自体への色分けも精度が増している。最大の特長は1/144スケールプラモ初となるコアファイターの完全変形。胴体内部への収納も可能となっている。2,650円(税込)。



© 創通・サンライズ

模型の世界首都 静岡ホビーフェア

開催期間

2010年7月24日(土)
～2011年3月27日(日)

RG¹/1 ガンダムゾーン開催期間

2010年7月24日～2011年1月10日(日・祝)
ガンダム立像の演出、「タッチ&ウオーク」、オフィシャルショップ、飲食ブースは、10月1日(金)～11月30日(火)は休止予定。ただし、ゾーン内に入場して見学することは可能。また、1月11日以降も立像をご覧いただくことは可能。

会場時間

7～8月 = 10:00～20:00
9月以降 = 10:00～18:00

場所

JR東静岡駅北側

料金

ホビーミュージアムのみ有料。
中学生以上 600円
小学生 200円※未就学児童無料

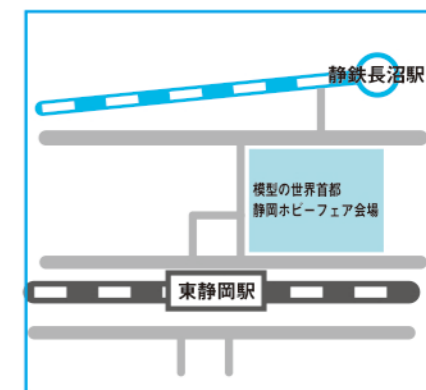
主催

静岡市

内容

1/1 ガンダム立像のある「RG1/1 ガンダムゾーン」のほか、静岡市の地場産業やプラモデルのルーツなどを紹介する「ホビーミュージアム」を設置。市内模型メーカー各社の協力を得て、貴重な資料と魅力のあるプラモデル作品を展示する。またフードエリアや地場産品を紹介するエリアも設置。会場限定の飲食物も。

infomation



ガンダム年表

宇宙世紀 0079年	
1月3日	: ジオン公国が、地球連邦政府に対して宣戦布告
10日	: ジオン公国軍、サイド2のコロニー「アイランド・イフィッシュ」を地球へ落下させる。一部が、オーストラリア大陸を直撃。
15-16日	: サイド5宙域にてルウム戦役。地球連邦軍の8割が壊滅。連邦軍のレビル将軍が捕虜になる。公国軍のシャア・アズナブル中尉は戦艦5隻を撃沈。連邦軍から「赤い彗星」とおそれられる。
31日	: 公国政府と地球連邦政府が休戦条約の交渉。調印直前にレビル将軍が脱出。南極条約は休戦条約から軍事条約に変更、ジオン公国軍は地球侵攻作戦を開始
3月1-18日	: 公国軍、第1-3次地球降下作戦開始。北米、オセアニアなど制圧
9月15日	: ホワイトベース、ジャブロー(南米)を出航。
18日	: ホワイトベース、サイド7に入港。シャア少佐指揮下の偵察部隊が侵入、史上初のモビルスーツ同士の戦闘となる。ホワイトベース、サイド7を出港
20-22日	: ホワイトベース、ルナツーに
23日	: ホワイトベースとガンダム、シャア少佐の搭乗するコムサイが大気圏に突入。ホワイトベースはジオン勢力圏の北米大陸に降下
10月4日	: ニューヨーク(シアトル説もあり)での戦闘にて公国軍ガルマ・ザビ大佐戦死
6日	: サイド3ズム・シティーでガルマ・ザビ国葬
6日-11月6日	: ホワイトベース、ランバ・ラルの部隊と数回にわたり交戦、これを撃退。
10日	: ホワイトベース、極東でマチルダ隊より補給を受ける(異説あり)
この間、ホワイトベース、佐賀周辺に停泊?	
11月2日	: ホワイトベース、レビル大将から「3日以内にカスビ海を渡れ」との指令を受ける
7日	: ホワイトベース、黒い三連星と交戦し、これを撃破。連邦軍がオデッサ作戦発動
9日	: オデッサ作戦完了。公国軍は鉱山基地を放棄
18日	: ホワイトベース、ベルファスト基地に入港
21日	: ジオン公国軍諜報員ミハル・ラトキエ、ベルファスト基地にてホワイトベースに潜入。
22-24日	: ホワイトベース、大西洋上にてシャア大佐率いるマッド・アングラー隊と交戦
27日	: ホワイトベース、ジャブローに到着
30日	: マッド・アングラー隊がジャブローの入り口を発見。攻撃するも失敗
12月2日	: ホワイトベース、宇宙へ発進
5日	: 連邦軍、アフリカ及び北アメリカ大陸における大規模な公国軍掃討作戦を開始。地球上の公国軍は宇宙への撤退を開始
24日	: 連邦軍、ソロモン攻略戦を開始し翌日制圧完了。ドズル・ザビ中将戦死
30日	: 公国軍、ソーラ・レイ発射。デギン公王、レビル将軍死亡。連邦軍艦隊、3分の1壊滅
31日	: 公国ギレン総帥、出陣演説。連邦軍、公国宇宙要塞ア・バオア・クー攻略戦開始。ア・バオア・クーの司令室において、公国軍のキシリア・ザビ少将がギレン総帥を射殺。キシリア少将、ア・バオア・クーから脱出を計るも、死亡、ザビ家は事実上壊滅。公国が共和制に移行。連邦政府へ終戦協定の締結を打診
宇宙世紀 0080年	
1月1日	: 月面都市グラナダにて、連邦政府とジオン共和国政府の間に終戦協定が締結

検証1

第12話で「太平洋の上」、第16話で「中央アジアを西へ向かう」というナレーションがあるが、第13-15話まで、作品中に具体的な地名は出てこない。

アムロが乗る連邦軍の戦艦「ホワイトベース」は南米にある連邦軍拠点「ジャブロー」に向かう予定だった。大気圏突入の際、シャアの襲撃にあったため、着陸地点が北米になってしまった。北米大陸はジオン軍が制空権を握っており、南下してアマゾン方面に行くことは難しい。と

りあえず太平洋を渡り、中央アジアに差し掛かったところで、黒海周辺の地オデッサにあるジオン軍の鉱物資源採掘拠点を奪回という命令を受ける。

この北米―黒海間の直線距離上には日本があり、地名が出て来ることはないが、日本を通過したことはほぼ間違いないと思われる。また、検証3で詳述するが、アムロが母親と再会する難民のキャンプで、その他難民の顔つきがあまりに日本人なのも見逃せない。

ホワイトベースは日本を通過していた

検証0

「機動戦士ガンダム」は1979

「科学的設定として白眉なのが「ミノフスキー粒子」。ロボット物アニメーションとして企画された本作だが、宇宙空間での戦闘は艦隊砲撃戦が中心となるべきであり、ロボットの戦闘は出る幕はない。そこで考えだされたのが「ミノフスキー粒子」である。この粒子は特殊電磁波効果によりレーダー、通信波を遮断したり、電子装置の誤作動を引き起こす。この発見により遠隔

「機動戦士ガンダム」は1979

80年に放送されたアニメ番組。スペースコロニーへの移民が始まって50年以上を経た宇宙世紀0079年が舞台。宇宙コロニー移住者が設立したジオン公国の、地球連邦からの独立戦争が物語の中心となっている。内向的な少年アムロ・レイが行きがかりで地球連邦のパイロットとなり、戦争への葛藤に悩みながら成長していく様子を縦軸に、科学的考証に裏付けられた設定、細かく描かれた脇役陣など、秀逸なドラマとして仕上がっている。子ども向けアニメーションとしては画期的な作品だった。

宇宙世紀0069年8月15日、宇

宙コロニー「サイド3」はジオン公国として独立を宣言。0079年、連邦に宣戦布告し、地球にコロニーを落とす。コロニーの破片はオーストラリア大陸に落下。地震と津波など二次被害を合わせ、死傷者、行方不明者はおよそ2億人にのぼったという。

科学的設定として白眉なのが「ミノフスキー粒子」。ロボット物アニメーションとして企画された本作だが、宇宙空間での戦闘は艦隊砲撃戦が中心となるべきであり、ロボットの戦闘は出る幕はない。そこで考えだされたのが「ミノフスキー粒子」である。この粒子は特殊電磁波効果によりレーダー、通信波を遮断したり、電子装置の誤作動を引き起こす。この発見により遠隔

ガンダムとは？

検証0

※記事の内容はアニメ「機動戦士ガンダム」と「機動戦士ガンダム公式百科」(サンライズ監修・宮川ゆか著)をもとに編集部が希望を織り交ぜて作ったものです。「ガンダムが佐賀にきていた」と断言するものではなく、その可能性について考察しました。ファンのみならずお手柔らかに...

夜な夜な秘密のサロンで、ガンダム立像を呼ぶべく作戦を練っていた編集部。「なぜ佐賀か」という根拠が全く浮かばない。迷った時には現場100回。心を無にして初代ガンダム全話を見直していたとき、編集長がある場面に気付いた。「これって佐賀!!」

スクープ!
ガンダムは佐賀に来ていた?

戦闘が無効化されロボット同士の肉弾戦が引き起こされることになる。物語を構成する上で欠かせないのが魅力的な敵役である。とりわけ「赤い彗星」と称されたシャア・アズナブルは主人公であるアムロ以上の人気を誇る。本名はキャスバル・ダイクン。ジオン公国を立ち上げた思想家ジオン・ダイクンの息子として生まれた。ダイクンは不慮の死をうけており、この事件の背後にダイクン死後に公国を統治するザビ家の影を確信している。キャスバルはシャアと名を変え、ジオン軍のエースパイ

ロットとして活躍しながら、ザビ家への復讐を開始する。連邦軍対ジオン軍という基本構造に、シャアの復讐劇を織り込むことで、物語はより複雑になっていく。また、屈折した過去を持つシャアは、数々の名ゼリフを放っており、そこにひかれるファンも多い。

放送開始から31年を経て大人気作となったガンダムだが、当初はその高度な物語設定ゆえか低視聴率に苦しみ、全52話の予定が全43話に短縮されることとなった。



検証2

セイラさんやミライさんがつかの間の休息を楽しんでいたのは「唐津」らしい??

第13話の冒頭、ホワイトベースの乗組員が海辺でつかの間の休息をとる様子が描かれる。ここで注目したいのは、ホワイトベースが複雑な海岸線のある場所に停泊しているところだ。

当時の日本周辺は、連邦軍とジオン軍の勢力が拮抗していた。ホワイトベース上空を警戒していた連邦軍機が、公国軍の哨戒機と交

戦したことを考えても、周辺地域が両軍勢力圏の境界であったことは想像に難くない。ハワイを公国軍が占拠していたことを考えると、太平洋沿岸地域は連邦軍の力が及ばないと考えるべきであり、必然的に停泊地は日本海側ということになるのではないかと。日本海側の複雑な海岸線といえ、唐津から佐世保にかけての地

形がまさにそう。冒頭のシーンではホワイトベースが島影に隠されているように見える。島の標高はホワイトベースの約2倍といったところである。ホワイトベースの全高は約90メートルとされているから、島の高さは180メートル前後なければいけない。この条件を満たすのが唐津湾に浮かぶ「高島」である。標高は約170メートル。しかも、ちかくには岩場とビーチがある海水浴場も多数ある。有力な候補地のひとつだ。



高島



佐賀市山間部の風景



佐賀市山間部にある北米ログハウス風の建物

検証3

アムロがお母さんを訪ねて、コアフアイターで訪ねたのは佐賀市山間部あたり??

ホワイトベース乗組員が休息を取っている間、アムロは母の住む家を訪ねる。使ったのはガンダムパーツである戦闘機「コアフアイター」。「コアフアイター」は垂直着陸が可能とはいえ、前述のように連邦、ジオン軍の勢力が拮抗している地域でコアフアイターは目立つ。停泊地の近くであれば、ホワイトベースに搭載されているバギーを使うのが当然だ。

戦闘機で行くからには、ある程度の距離がある場所ということになる。では、どこなのか? 最大のヒントは、アムロの所在を聞かれたミライの「30キロほど東にお母さんの家がある」という言葉。唐津周辺から東に30キロほど行ったらある場所は、やはり富士町や三瀬村あたりの佐賀市山間部ではないだろうか。場所の特定は難しいが、約28キロメートルの距離になる。

ジオン軍のコロニー落としによる津波の影響を考えると、実家がそのまま残っているところを見ても、山間部である可能性が高い。アムロの実家周辺の家並みから北米説というものも有力視されているが、グローバリズムの世の中、北米ログハウス風の家は三瀬村周辺で散見される。アムロの母が働いている難民キャンプがあるとされた教会はさすがにないが、チャペル風の尖塔がある建物はある。ますますアムロ実家=佐賀説に近づいた気がする。

検証4

ランバ・ラルの生きざまに「葉隠」を見た!

「武士道と云ふは死ぬ事と見つけたり」。江戸時代中期(1716年ごろ)に鍋島藩士が、武士としての心得について書き書きした書物「葉隠」の一節である。

この武士としての矜持を感じさせる人物がランバ・ラルである。ランバ・ラルは公国軍の大尉。父の代からジオニズムの創始者ジオン・ダイクンに仕えていた筋金入

りの軍人である。そのジオン・ダイクンとの近き故、公国の中枢を握るザビ家から疎まれていた。ランバ・ラルがホワイトベースを追うのは、ザビ家の二男ドズルから、実弟ガルマの仇討を命じられたからだ。本来、気の進まない任務だが、部下を養わなければ、と引き受けた理由を口にする。脱走したアムロと食

堂で出くわした際、連邦軍兵士と分かっておきながら見逃すところなど、度量の大きさが伝わってくる。度重なるガンダムとの死闘により、ランバ・ラルはモデルスーツを失う。新たな兵器が補給されないと分かり特攻作戦を決断する。ホワイトベース内に侵入した際、偶然、乗組員であるセイラと出会

う。セイラは実はジオン・ダイクンの娘であり、一目見て気づいたランバ・ラルは銃をおろしてしまふ。その隙を狙われ射たれてしまふランバ・ラル。ホワイトベースの乗組員に残した「君達は立派に戦ってきた。だが、兵士の宿命がどういふものかよく見ておくんだな」という最後の台詞が涙を誘う。ジオン軍にはなく、あくまでダイクン家に忠誠を尽くし死んだランバ・ラル。その生きざまはまさに「武士」だ。

はしづめ・ひろし

1968年生まれ。大阪出身。元佐賀青年会議所理事長。20代前半で佐賀に来て、塾や飲食店などを経営。現在、佐賀新聞文化センター取締役。「ガンダムは2万回見た」と豪語するとおり、その知識は他の追随を許さない。



ガンダム立像が佐賀に来たら、どんなことが起きるのか。ガンブラを作り続けて30年の中島哲也氏、本プロジェクトの仕掛け人、ガンダムを2万回見た男・橋詰空氏がガンダムの魅力と誘致プロジェクトへの意気込み、期待を語ります。

「ガンダムにハマったきっかけは、橋詰（以下「橋」） childhood 小5くらいの時期だった。最初はブームじゃなかった。宇宙人や悪者が出てこないからイマイチのれなかった。ハマったのはプラモデルが発売されてからだからリアルタイムではなかった。中島（以下「中」） 超合金がブームだったけど値段が高くて。ガンブラは駄菓子屋で売っていたから。橋 300円だった。でも、どこも売ってなくて、飢餓感から人気が拍車がかかって。中 パチもんが結構出た。「ガンガル」とか。橋 あってもビクザムとかギャンばかり。ガンダムやシヤアザクなんて売ってなかった。並んでも手に入らなかった。中 抱き合わせ販売とあったし。橋 店の人も個別に注文できなかったらしい。段ボール箱でドバツとってきて、ガンダムは1、2個しか入っていない。中 ガンブラブームで再放送を見てから、物語そのものに興味が出てきた訳ですね。中 直前に宇宙戦艦ヤマトブーム

座談会 ガンダムが来たらドえらいことに

中島 哲也

「R-fit」代表取締役

橋詰 空

佐賀新聞文化センター取締役

があって、宇宙ものを受け入れるグラウンドがあった。それまでのヒーローものは人間対宇宙人という感じだったけど、ガンダムは人間同士。主人公が16歳で年齢が近かったのも大きかった。橋 自分たちと同じくらいのヤツがロボットを動かしているのに憧れた。中 アムロが民間人というのも良かった。橋 当初は親父が設計したものだっただけで、コロニーでも「機械いじりが好きな少年」として有名だった、という2点で操縦できる理由を説明していた。実はニュータイプだったんだけど。中 ジオン対連邦だと思って見ると、子どもでも単純で分かりやすかった。物語が重層的だから、大人になってもどんだん違う見方ができる。掘り下げている期間が長かった。橋 人間対人間というドラマ。善悪では割り切れないことに気づかされる。中 リユウ、スレッガー、ミハル、ラア。同世代の思い入れがあるキャラが死んで行く。悲しいけどこれが戦争なんだと気づかされた。当時は「連合艦隊」や「203高地」といった映画が公開されたり、戦争ものの余韻がまだあった。

戦争の悲哀伝える

橋 ジャンプの表紙が戦車の絵だった。中 今のアニメは人が死ぬ事に抵抗感が少なく、すぐ受け入れる。当時は戦争と地続きだったと思う。橋 民間人が戦わざるをえない悲哀が描かれている。例えばミハルの場面。戦闘中に、コックピットのカイはミサイルのボタンを押すが発射されない。ミハルがミサイルのそばに行き手で発射する。爆風で吹き飛ばされるミハル。カイはそんなことも知らず、標的を仕留めたことをマイクごしにミハルへ伝えるのだった。ミサイルの近くにいたミハルは爆風で吹き飛ばされる。中 子どもの頃は「カイは馬鹿だな」と思ったが、民間人という前提で見直すと、正式な訓練を受けずに戦争に巻き込まれたが故の悲劇だったことが分かった。ドズル、ランバ・ラルなど「漢」と書いて「おとこ」と読むような脇役たちも魅力的。それぞれにストーリーがある。道徳教育ではないけど、大事なことはガンダムから学んだと言っても過言ではない。橋 モビルスーツはカッコいいけど戦争の兵器。人が死ぬということがいかに悲しいかということが分かった。子ども心にも戦争はダメだと感じた。おじいさんが子どものパンを盗んだり、ホワイトベースは社会の縮図。ガンダムで情操教育をすべきだ。また、シヤアのセリフ「戦いと、いつも二手三手先を考えて行うものだ」



なかしま・てつや

1971年大阪生まれ福岡育ち。「2500円飲み食べ放題」の居酒屋「呑気」のFCチェーンなどを展開する「R-fit」代表取締役。30年にわたってコツコツ集めたガンブラは400個をこえる。毎日、少しずつ組み立てるのが愉しみ。佐賀の住みやすさに惚れ込んでいる。

ガンダムを佐賀に呼ぼう プロジェクト

1

求む同志

来月決起集会！(予定)

いよいよ始動した「ガンダム 佐賀に立つ？」プロジェクト。この連載はプロジェクトの進行状況と、今後の取り組みについてレポートしていきます。

とりあえず始まった「ガンダム佐賀に立つ」プロジェクト。佐賀をおもしろくするために必要なものは何か？という問いに対する編集部からの一つの答えです。呼べる理由もないが、呼べない理由もない。とにかく、手を挙げないことには何も始まらない。最初からあきらめていては街を面白くすることなど、到底無理なのです。

意気込みはあるものの、具体的な事は何も決まっていない。ここからは、多くのガンダムファンの協力がが必要です。どうすれば呼べるか、呼んで何をするか、その盛り上がりをつくりだすにどう活かしていくか。みなさんの知恵と力と経済力が必要です。

手始めにガンダム招致へ向け、実行委員会のようなものを立ち上げたいと思います。来月には決起集会を予定しています。日本全国に向け、佐賀のガンダムに掛ける思いをアピールしましょう！ 祭は見るより、やった方がおもしろい。興味がある方はどんどん、以下の問い合わせ先に連絡ください。

お問い合わせ

佐賀新聞文化センター モテモテさが編集部

0952-20-2352 info@motemote-saga.jp まで。

宇宙世紀 な人々

① 岩田武くん

お父さんの話: 武と名前を付けたあと、ネットで「岩田武」を検索してみたら、「ガンダム」というニックネームで呼ばれている人がいて初めて気づきました。ガンダムは好きだったけど、自分の息子に名付けるほどではありません(笑)。ただ、この事実が分かってからガンダムがより身近に感じられるようになりました。去年はお台場にも一緒に行きました。本人はまだ、ガンダムより戦隊ものが好きなようです。でも、将来はきっと立派なガンダム好きになると思いますよ。教育します。



中島さんのガンブラコレクション 30年がかりでコツコツ集めた

は座右の銘として、自分の人生を支えている。

— 重層的なストーリーと魅力的な登場人物が織りなす深いドラマ性ゆえに、30年以上も愛され続けるガンダム。そのガンダムを佐賀に呼ぼうというのが今回の企画意図なんです。が、実現したらどうなるんでしょう。橋 タクシーに乗るときに県外客のふりをして、佐賀で面白いものは、と聞くと、運転手が何もないと答える。佐賀にランドマークを作らなくては。シンボリックなものがあると人が来るというのを証明したい。ガンダムを楽しむ人が集まったら、それを中心街に引っ張りこむ仕掛けを商店街の人に考えてほしい。他人まかせではなくて、みんなで作る事が重要だ。

中 自分たち第二次ベーパーブーム世代がガンダムブームを支えていた。大人になった同世代は消費活動も購買意欲も旺盛。昨年のお台場ガンダムにはその世代が集まった。当初予想が150万人だったのに結局450万人集まった。シャア並みの3倍のスピード。バリンフェスタは1週間80万人超の集客がある。ガンダム立像の展示がお台場と同じ1カ月半だとならるか。佐賀はアクセスが良いので福岡、長崎、大分、熊本から続々来る。九州内の人口は約1500万人。首都圏人口に占めるお台場入場者数は9.3%。これをもとに考えると約140万人が来る計算にな



中島さんが作ったガンブラ。オリジナルモデルもある

る。最低でも100万人。佐賀市の人口の5倍になる。どれだけ経済波及効果があるか。やってみる価値はある。

橋 今、佐賀が立ち上がらなくてはいけない。

佐賀にニュータイプ

— 経済効果だけではなく、佐賀人への刺激という点はどうか

橋 佐賀人は奥ゆかしい。何も無いといいながら地元が大好きなのが良く分かる。そんなところに、誰もが自慢できるものができればどうなるか。

中 青い空、平野、きれいな星。それに夢の実現が加われば。ニュータイプとして覚醒？

橋 何にも無いと言っていたのが、ガンダムがあるということ。自信がついて、次々に佐賀自慢が始まると思う。

中 全員が目醒めなくても、不可能なことはない、と数人でも思い出し行動を始めたなら、佐賀はもっと面白くなると思う。

橋 あえて言おう、「立つ」であると!!!